

平成30年度 第3回総合診療医検討委員会

議事録

開催日時 平成30年11月16日(金) 14時00分～15時30分

開催場所 東京国際フォーラム D301
(東京都千代田区丸の内3-5-1 D301)

出席者 委員長 羽鳥 裕
委員
有賀 徹 井上 健一郎 金丸 吉昌 草場 鉄周
菅原 正弘 園田 幸生 竹村 洋典 田妻 進
野村 英樹 前野 哲博 山田 隆司 渡辺 毅

オブザーバー 監事 松原 謙二

事務局 事務局長代行 栄田 浩二 他

欠席者 委員 石松 伸一 今村 聡 清水 貴子 清水 俊明
北村 聖 南学 正臣 邊見 公雄 横山 彰仁

議 題

1 総合診療専門研修プログラム審査確認状況について

内科指導医の総合内科専門医、認定内科医について内科学会のホームページから抜粋してきた資料について確認が行われて。(詳細については資料参照)

指導医の認定期間など管理を行っていく必要がある。

内科指導医の確認については、機構でまとめて内科学会に確認をお願いする。

整備基準の特任指導医の候補の中の

6) 7) の病院に協力して地域において総合診療を実践している医師

7) 大学病院または初期臨床研修病院にて総合診療部門(総合診療科・総合内科等)に所属し総合診療を行う医師

について統一したフォーマットを作成し対応することとなった。

8) 医師会からの推薦については様式の検討を行い、日医かかりつけ医研修の講習受講済みの医師と、未受講者については申請書をわけ

2 総合診療の今後のロードマップについて

今年中、今年度中、次年度に対応することなどについて確認が行われた。

3. 総合診療の今後の進めるにあたりワーキング委員の分担について、膨大な事務作業も発生するため、ワーキングを作ることが提案され了承された。

・ワーキング (ML soshin3)

プログラムの認定証、講習会参加者への認定証の発行、

- ・研修手帳については、関係委員会とも調整した後、製本したものを印刷し専攻医へ配布する。
専攻医開始届については、受け取った際に手紙を送付するなど対応を行うこととする。
- ・総合診療版 JOSLER の使用料（プログラム作成料 2,000 万円、年間保守料 600 万円）が事務局から示されたが、システム作成の費用や保守料について、内科学会へ問い合わせ、さらに精査することになった。
委員からは、使用料を専攻医から徴収することへの懸念などがあり、保守費用もかさむので、JOSLER を使用しない選択肢もあるのではないかなどの意見があり 12.14 の内科学会との打ち合わせののち、ワーキングにて案を提示する。
- ・プログラム統括責任者および特任指導医講習会については、2019 年 1 月から 3 月までの間に開催する予定。日時、開催場所、講師メンバー、講習会の内容等について検討会場等を調整中で、決定次第、機構ホームページ等で案内する。ワーキングが対応
- ・医師会からの指導医の資格要件について、日医かかりつけ医講習履修など 2 つの書式について決定した。

4. 総合診療専門医のありかた、想定されるよう養成数、総合診療領域のサブスペの考え方、セカンドキャリアー などは、各ステークホルダーの意見を幅広く統合することについて、本委員会で討議を継続する。

5. 総合診療に関する問い合わせについて

細かな文言については、委員長、事務局で対応 QA については、エクセル表でまとめて、後日呈示する問い合わせのあったへき地等の研修について考慮することとなった。

6. その他

日本臨床内科医会副会長 菅原先生から、8000 名の会員による臨床内科医会の総合医としての地域での取り組みの紹介があった。

次回委員会開催について

第 4 回：平成 30 年 12 月 21 日（金）14：00～15：30

そのご：平成 31 年 1 月 18 日（金）14：00～15：30

：平成 31 年 2 月 15 日（金）17：30～

：平成 31 年 3 月 15 日（金）14：00～15：30